

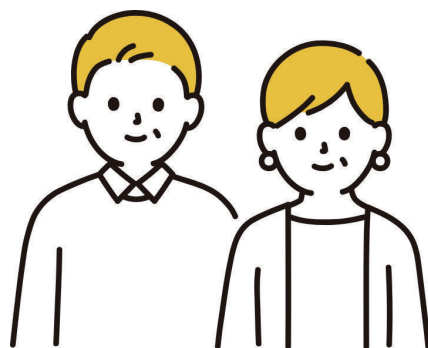
関係づくりに関する取組

「自分や家族が暮らしたい地域を考える」「地域で困っている課題を解決したい」という積極的な姿勢で、様々な取組を行う地域住民や福祉に関係する人のつながりにより、共生の文化が広がる地域づくりが期待されます。

わたしたちの地域には、様々な知識や経験を持った人や、専門性のある社会福祉施設や企業などの地域資源があります。

わたしたちは、これらの人や施設、企業などへ参加・協力を働きかけ、ともに地域で生活する仲間として、協働して地域を支えます。

これまで紹介した取組の他にも、地域の方々がいきいきと暮らすことができるように、数多くのごとに取り組んでいきます。



この計画をもっと知りたいときは…

しらべてみる

さがみはらし 相模原市 ちいき きょうせいしゃかい すいしん けいかく 地域共生社会推進計画 ネットで検索

き聞いてみる

さがみはらし けんこう ふくし きょく ちいき ほうかつ すいしん ぶ ちいき ほうかつ すいしん か 相模原市 健康福祉局 地域包括ケア推進部 地域包括ケア推進課
電話：042-769-9222 / ファクス：042-759-4395
E-mail：houkatsucare@city.sagamihara.kanagawa.jp

れいわ ねんど 令和6年度 からの

さがみはらの 地域福祉の取組

ちいき きょうせいしゃかい すいしん けいかく だい き ちいき ふくし けいかく
～地域共生社会推進計画（第5期地域福祉計画）

わかりやすい版～

どんな計画なの？

ちいき きょうせいしゃかい すいしん けいかく だい き ちいき ふくし けいかく ちいき く ひと
地域共生社会推進計画（第5期地域福祉計画）は、地域で暮らす人たちが支えあう地域づくりをすすめるため、基本的な目標や取組をまとめたものです。

また、8050問題（※）など、難しい課題に対応するため、関係する様々な人たちが連携する仕組みづくりを記載したものです。

この計画は、令和6（2024）年度から令和11（2029）年度までの6年間を計画の期間としています。

※8050（はちまるごーまる）問題とは

だい おや こ ささ せたい かいご ひんこん
80代の親がひきこもりの子どもを支えている世帯が、介護や貧困の悩みを抱えたまま、助けを求められず社会から孤立してしまうことなどをいいます。

ほか かいご こそだ りょうほう ちよくめん こう
その他、介護や子育ての両方に直面している「ダブルケア」や高齢者が高齢者を介護する「老々介護」などの難しい問題も課題となっています。

この計画では、次の言葉をキャッチフレーズに
 さまざまな取組を進めていきます。

みんなで支え合い 地域の力が育む
 人にやさしいまち さがみはら

● 地域に暮らす住民すべてが参加して地域の力を育み、
 「地域共生社会の実現」をめざします。

体制づくりに関する取組

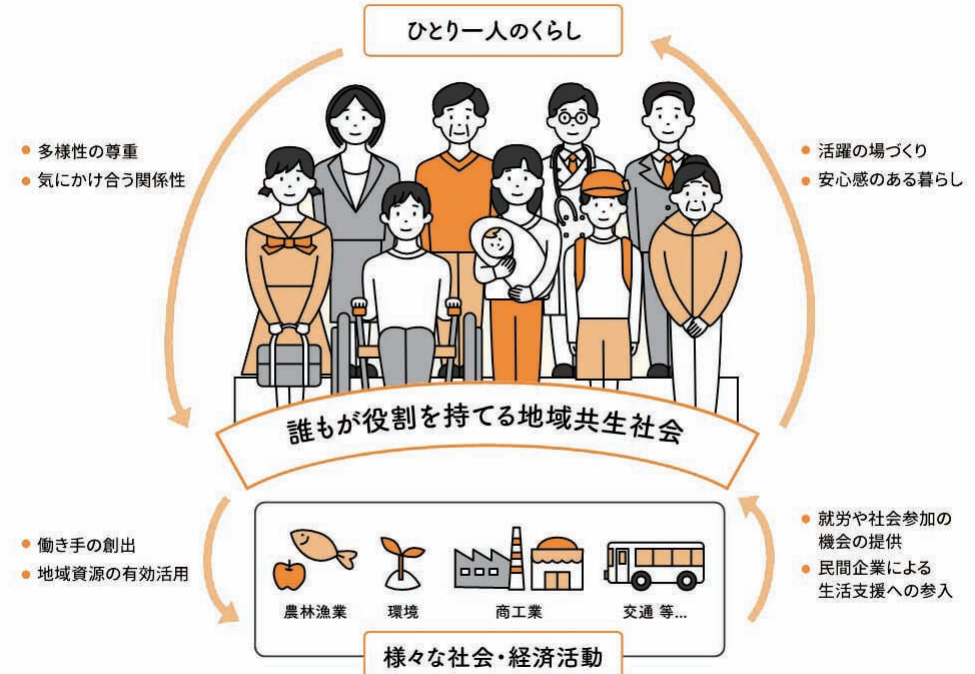
住み慣れた地域で自分らしくいきいきと暮らしていくために、
 地域の住民が支えあい、地域をつくっていくことが必要です。
 そのため、福祉に関するサービスや支える体制を充実します。
 また、自分の意思や考え方が大切にされて、誰もが暮らしや
 すい環境をつくります。

人材づくりに関する取組

地域づくりには、「支える人」「支えられる人」という関係を
 超えて、地域住民や地域で活動する団体（自治会など）が「我
 が事」として参加することが大切です。
 身近な場所で福祉を学び、経験できる機会や場を充実し、地
 域を支える人を増やします。
 また、難しい問題を抱えた人を受け止め、寄り添い、専門的
 なお手伝いができる人を育てます。

地域共生社会とは

制度・分野ごとの支援や「支える人」「支えられる人」という関係
 を超えて、地域住民や地域の様々な団体などが、地域の活動に参加し、
 みんながつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域
 をとものつくりしていく社会を指しています。



資料：厚生労働省資料より引用

